

1 教育目標

ふるさとを愛し、主体的に学び、豊かな心と健康な身体を育み、たくましく未来を拓く生徒の育成

2 教育方針

- (1) 「石川の教育振興基本計画」や「いしかわ学びの指針12か条(学びの12か条プラス)」及び「七尾市教育委員会学校教育ビジョン(学校力の強化・教師力の強化・教育活動の充実・連携力の向上)」の目指す指導方針を教育理念として、教職員の資質を高め、全教職員が学校経営に参画し、組織的実践を通して教育目標の具現化に努める。
- (2) 一人一人の生徒への支援を大切に、規律を重んじ、生き生きと主体的に活動する学校づくり、個々の生徒の資質・能力を高め、生徒、保護者、地域から信頼される学校づくりを行う。

3 中・長期的目標

＜知・徳・体の調和のとれた 未来を拓く、心豊かな生徒の育成＞

【心力】生徒：人権意識を持ち、より良く生きようとする実践的な力を身につける。

教師：責任とモラルを重んじ、人を思いやる豊かな心の醸成に努める。

【学力】生徒：主体的・対話的で深い学びを通し、活用力やコミュニケーション能力を身につける。

教師：生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力や創造性を育む学習指導に努める。

【体力】生徒：挑戦する勇気を持ち、体力・活力の増進に努め、自立心を養う。

教師：生徒一人一人に愛情を持って接し、心身の健康と自己肯定感を育む指導に努める。

4 重点目標と努力事項

【今年度の重点】学習指導と生徒指導の一体的充実

～学力と人間関係力の向上（学び合い、支え合う生徒集団の育成）～

(1) 令和の日本型学校教育の実践

①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業の取組
- ・各自の判断で必要な時に相談し、端末を利用して学習を進める「個別最適な学び」
- ・対話を通してさまざまな考え方に触れながら、学びを深める「協働的な学び」
- ・課題達成に向けた学び合い活動の重視

②教師のスキルアップ

- ・学習の見通しが持てる明確な学習課題の設定
- ・誰一人も取り残すことのない的確な見取りとアシスト
- ・ICT機器の効果的な活用

(2) 組織的な生徒指導体制の構築

①「発達支持的生徒指導」「課題未然防止教育」の日常的な取組

- ・声かけ、励まし、賞賛、対話、授業や行事等を通じた個と集団への働きかけ
- ・いじめの未然防止と不登校への早期対応

②生徒一人一人の自己指導能力の育成に向けた学級・授業づくり

- ・自己存在感の感受（クラスの一員として自覚できる学級）
- ・共感的な人間関係の育成（相手の考えを受容し、学び合う授業）
- ・自己決定の場の提供（自ら考え、選択し、実行できる授業）
- ・安全・安心な風土の醸成（お互いの個性や多様性を認め合う学級）

- (3) 働き方改革の推進
 - ・教職員のワークライフバランスの意識向上
 - ・専門的スタッフの参画、ICT活用による業務改善
- (4) 人材育成の取組
 - ・OJT校内体制の充実による若手中堅教員の育成
 - ・研修履歴を活用したキャリア形成
- (5) 学校・家庭・地域の連携
 - ・地域の人的、物的資源の活用
 - ・教育活動の積極的な情報発信と、家庭・地域の声の受信
- (6) 危機管理の徹底
 - ・全職員共通理解のもとでの学校安全計画の実施
 - ・危機管理マニュアルによる実践的な研修と訓練

5 めざす学校像

- (1) 共に学び合い、感動を共有し、生き生きと活動する明るい学校
- (2) さわやかなあいさつと笑顔があふれ、礼儀と秩序のある学校
- (3) 生徒一人一人の良さを認め、伸ばす学校

6 めざす生徒像

- (1) 粘り強い心と体を持つ生徒
- (2) 明朗で思いやりのある生徒
- (3) 目標をもって学習する生徒
- (4) 自主的に行動する生徒

7 めざす教職員像

- (1) 生徒の意欲を高め、わかる授業に努める教師
- (2) 生徒理解に努め、一人一人の個性を認め励まし、生徒の主体性を育てる教師
- (3) 課題解決に組織的に対応でき、保護者、地域と連携し、信頼に応える教師